

令和3年度 草津市障害児（者）自立支援協議会全体会・定例会の実施状況

開催回	開催日	構成機関	出席機関数	出席者数	議題	
全体会 (第77回)	5/31	月	116	—	—	コロナのため書面決議 ・令和2年度の活動報告とR3年度の予定
定例会 (第78回)	7/8	木	116	41 (ZOOM 参加27)	50	新型コロナウイルス感染症対策の取り組みについて ・事例報告「在宅利用者の新型コロナウイルス陽性者発生等の対応」 ・利用者等の感染時対応フロー図（改訂版）の活用と今後課題及び意見交換
定例会 (第79回)	9/22	水	116	—	—	コロナのため書面報告 ・新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトについて ・各部会、プロジェクトの報告 ・草津市障害者虐待対応マニュアル作成の案内、虐待阻止、予防対策の推進チラシの配布 ・地域アドボケートの選任について 等
定例会 (第80回)	11/18	木	116	41 (ZOOM 参加27)	47	・新型コロナウイルス感染症対策プロジェクトの進捗状況 ・各部会、プロジェクトの報告 ・意見交換
定例会 (第81回)	3/18	金	116	26(zoom)	29	各部会・プロジェクトからの報告

【定例会へのアンケートの意見（抜粋）】

- コロナ禍で感染防止を図りながらの会議の実施、オンライン会議も開催できてよかった。今後はZOOMを取り入れてほしい。
- またリモート会議のメリットデメリットの検討の必要性があり、リモート会議での資料の準備、説明の仕方など実施方法や事前準備など非常に難しいとは思いますが研鑽をしてほしい。
- リモートであっても意見交換が活発にできる工夫（例：発言を促すなど）を検討してほしい。
- まだまだ続くコロナ禍の活動となり支援チームとして事例検討会等できたらよい。
- 草津市障害児（者）自立支援協議会は様々な部署との共同を取りまとめることによりよい良い支援につながる。横のつながりを広げわかりやすい関係づくりを行ってほしい。
- 新型コロナ感染及び濃厚接触になった場合の対応フロー（改訂版）は前回よりわかりやすく具体的なイメージが持てた。
- コロナの対応について児童の場合の取り組み（対応や周知等）を部会で報告していきたい。
- コロナの濃厚接触者かどうか不明な時の利用者の行動で感染対応の範囲が広がった例があり、施設や事業所など関係機関への速やかな情報提供とご本人へのコロナの周知は必要だと思う。
- 新型コロナ対策プロジェクトの立ち上げはよいと思う。早急に対応してほしい。
- コロナワクチン接種は居宅訪問看護など最前線で利用者として接している方は早急に打つべきだ。
- コロナ対応についてセルフプラン・支援がない方への対応について今後の検討が必要。
- 各部会の報告で相談支援事業所の相談員の不足など現状が理解できた。
- 災害時の対応も重要な取り組み。災害時の行政や民間事業所をしっかりと動かす仕組みが重要と感じた。また、災害時に避難場所に安全に非難するための基本は自助が大切と考え、日頃から自助で備え（障害児機器・食料など）や地域での避難訓練が大切だと思った。
- 精神障害の利用者が利用できるショートステイの受け入れの拡大希望。特に週末など困難。
- 子ども支援部会への期待。医療的ケア児への支援体制や放課後等デイサービス事業所同士の交流や対応検討等。
- 自立支援協議会では幅広いリアルタイムの内容の研修や取り組みを期待している。
- 資料がまとまってPDFになって送ってきてもらってありがたかった。